

# 令和6年度(7年産)ビール大麦生育概況①

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

調査日：令和6(2024)年12月20日

(調査基準日12月20日)

- 生育はやや旺盛である。
- 湿害対策として圃場の排水対策を行う。
- 2.5葉期を過ぎたら麦踏みを実施する。

## 1. 播種期～年内の気象概況

宇都宮市の平均気温は、11月(8～30日)が平年より1.5℃高く、12月(1～19日)が平年より0.1℃低かった。降水量は、11月が平年比61%、12月が0%であった。日照時間は、11月が平年比109%、12月が125%であった。

## 2. 播種期～年内の生育概況 農研センター本場(宇都宮市)

ニューサチホゴールド(11/8播種区、平年差+2日)の出芽期は11月17日(平年差+2日)で、出芽日数は9日であった(平年差±0日)。苗立数は平年比112%であった。ニューサチホゴールド(11/19播種区)の出芽期は12月1日で、出芽日数は12日であった。

12月20日現在、ニューサチホゴールド(11/8播種区)の草丈は平年比110%、茎数は平年比149%、葉齢は平年と同等、葉色(SPAD)は平年比104%で、生育量は平年より上回っている。

向こう1か月の季節予報によると、気温が低い確率が高く、今後生育は緩慢になると思われる。

## 3. 今後の気象動向(気象庁季節予報 令和6年12月19日発表より引用)

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・向こう1か月の平均気温は、低い確率50%です。
- ・降水量は、少ない確率が50%です。日照時間は、多い確率が50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 12/21～01/20	50 40 10
		1週目 12/21～12/27	30 50 20
		2週目 12/28～01/03	60 30 10
		3～4週目 01/04～01/17	40 40 20
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 12/21～01/20	50 30 20
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 12/21～01/20	20 30 50

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

### <予報の対象期間>

1か月	: 12月21日(土)～1月20日(月)
1週目	: 12月21日(土)～12月27日(金)
2週目	: 12月28日(土)～1月3日(金)
3～4週目	: 1月4日(土)～1月17日(金)

## 【耕種概要等】

供試品種：ニューサチホゴールデン、シュンライ、さとのそら

調査方法：ほ場調査（出芽期、苗立数、草丈、茎数、葉齢、葉色）

播種期：11月8日（前年11月16日・平年11月6日）、11月19日（ニューサチホゴールデンのみ）

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m<sup>2</sup>設定

踏圧：12月6日

## 【調査結果】

農研センター本場（宇都宮市）における生育概況

品種名	年度	播種期	出芽期	苗立数	草丈	茎数	葉齢	葉色	正規化植生指数
				本/m <sup>2</sup>	cm	本/m <sup>2</sup>		SPAD	NDVI
ニューサチホ ゴールデン (11/8播種区)	本年	11/8	11/17	213	13.0	705	3.7	34	0.34
	平年	11/6	11/15	189	11.8	473	3.7	32.6	0.41
	平年比・差	+2	+2	112%	110%	149%	±0.0	104%	83%
	(参考)前年	11/16	11/28	214	8.9	376	2.7	34.7	0.21
ニューサチホ ゴールデン (11/19播種区)	本年	11/19	12/1	218	9.5	220	1.6	29.1	0.20
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年比・差	-	-	-	-	-	-	-	-
	(参考)前年	-	-	-	-	-	-	-	-
シュンライ	本年	11/8	11/18	263	10.4	572	3.3	37.3	0.36
	平年	11/7	11/17	255	9.3	373	3.0	39.5	0.39
	平年比・差	+1	+1	103%	112%	153%	+0.3	95%	94%
	(参考)前年	11/16	11/29	219	6.5	343	2.5	37.1	0.21
さとのそら	本年	11/8	11/17	197	13.0	572	3.5	44.4	0.31
	平年	11/7	11/16	186	12.4	431	3.7	40.4	0.40
	平年比・差	+1	+1	106%	105%	133%	-0.1	110%	76%
	(参考)前年	11/16	11/30	218	8.0	239	2.5	37.3	0.17

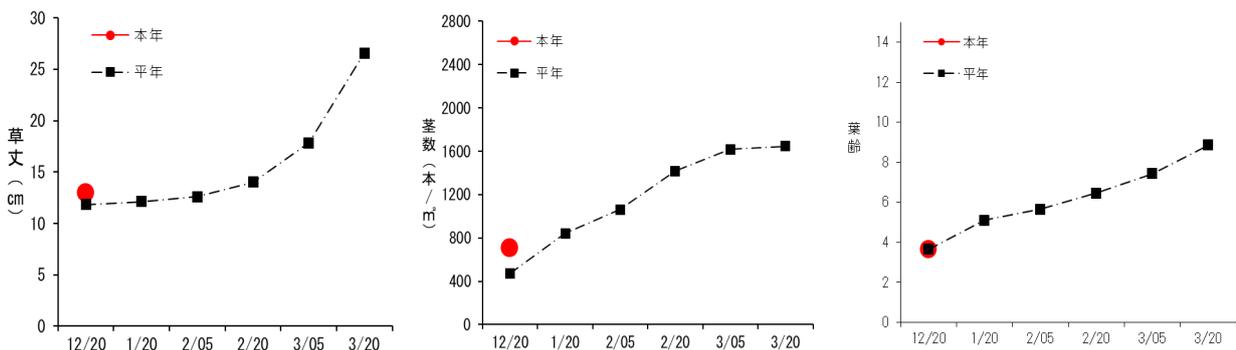
注) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの。

注) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある。

※平年値：ニューサチホゴールデン(11/8播種区)は平成25年～令和4年度(10年間)の平均値。その内NDVIは平成29年～令和4年度(6年間)の平均値、ニューサチホゴールデン(11/19播種区)は初年度のため平年値はなし。シュンライ、さとのそらは令和元年～令和4年度(4年間)の平均値。

※令和5年度は参考値(平年値から除く)。

### ○草丈、茎数、葉齢の推移（ニューサチホゴールデン）



**【今後の管理】**

向こう1か月の降水量は少なくなることが予想されるが、早期に明きよの整備を行う事が望ましい。整備のポイントとしては、①明きよの出口は排水溝に接続されていてきちんと排水されるか、②溝が土や泥等で埋まっていないか(埋まっていたらさらう)、である。ほ場周縁部に排水溝がない場合は、明きよを深く掘るなど確実に対策を行う。

このような排水対策の実施は、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促すため、素早く踏圧を行うことが可能になる。

踏圧(麦踏み)は、2.5葉期(写真1参照)を過ぎた頃に1回目を行い、年内に1~2回行う。踏圧の効果は、“分けつを旺盛にする”、“根はりを良くする”や“霜柱による凍上害を防止する”等があり、麦類の良好な生育には必要不可欠の技術である。しかし、ほ場水分が高い状態で踏圧を行うと、土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすことがある。そのため、踏圧はほ場の水分量に留意して行うことが重要である。

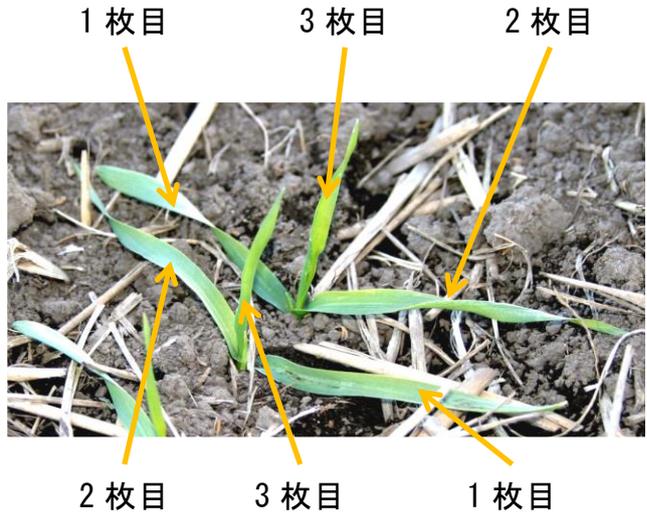


写真1 麦類の葉齢の数え方



写真2 排水溝に接続されている明きよ

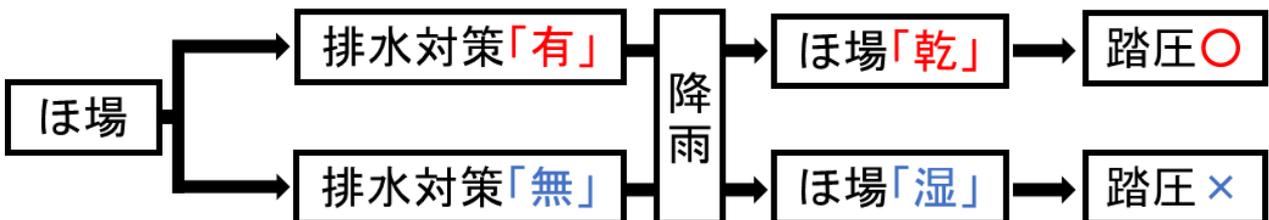
※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が乾きやすく、早い時期に踏圧ができる。



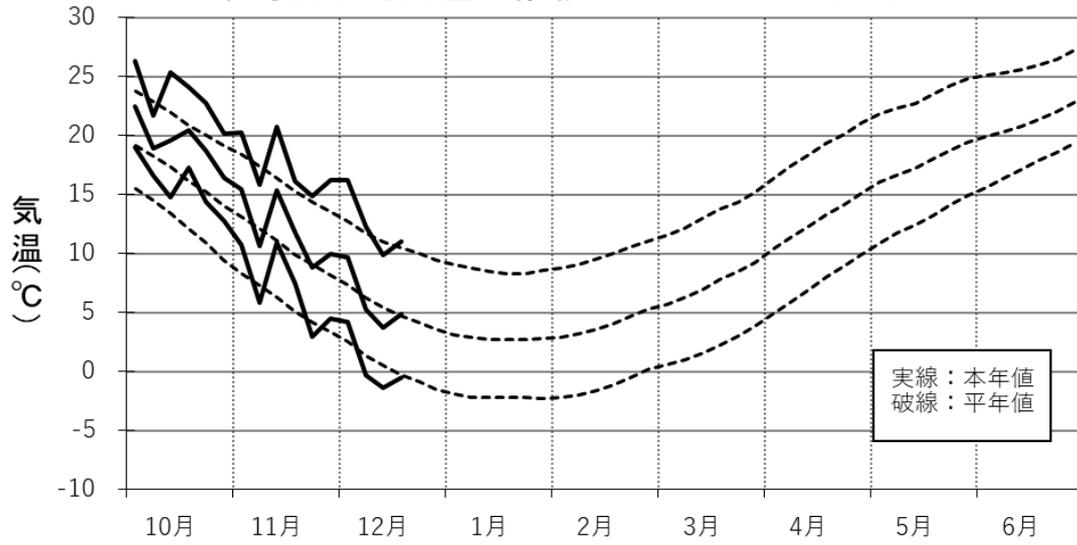
写真3 排水溝に接続されていない明きよ  
雨が溜まってしまっている



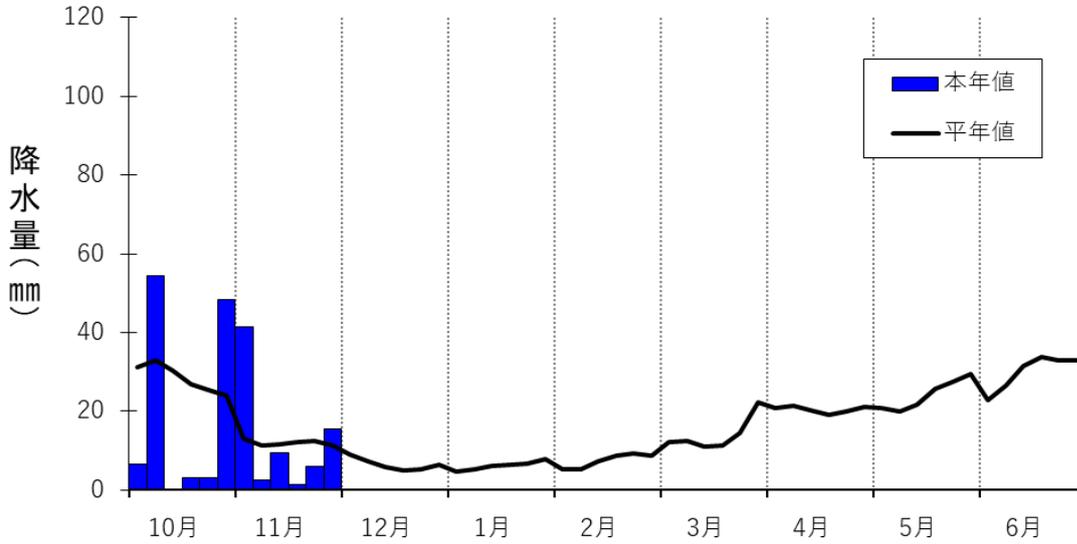
写真4 降雨後1日経過、慌てて排水溝に接続している



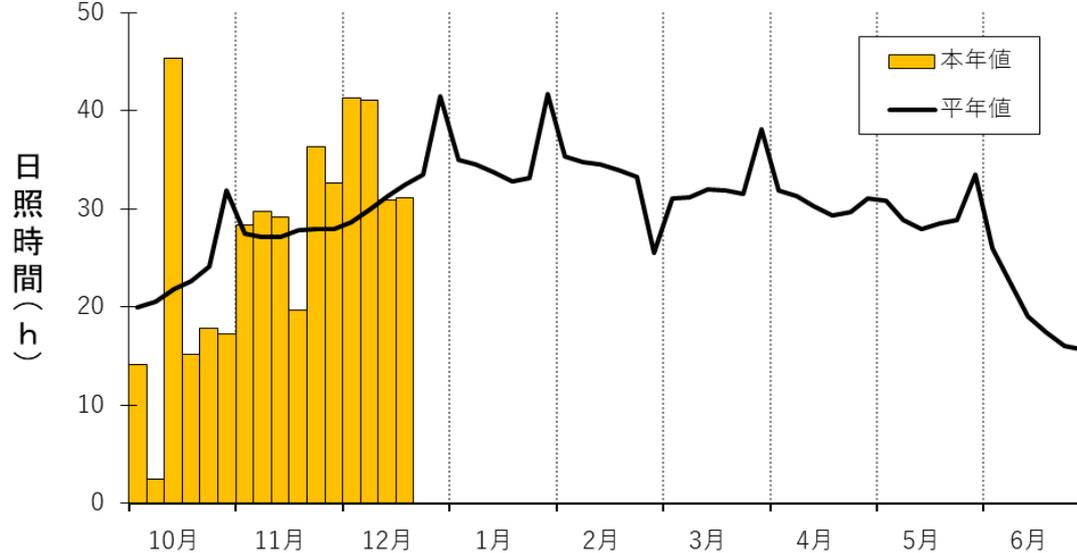
半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



**【気象概況】**



ニューサチホゴールデン（11/8 播種区） 2024年12月20日撮影



ニューサチホゴールデン（11/19 播種区） 2024年12月20日撮影